

日程	順	議員名	件名	要旨
3月11日 (木)	1	並里 弘二	コロナ禍における、主な支援に関する情報発信強化について	(1) 若者への情報発信強化、SNSや動画などインターネットのフル活用について伺う。 (2) 広報いとしまへの横断的な支援制度の特集ページの掲載について伺う。
			新庁舎のデジタル化について	(1) 高齢者の利便性向上の為、支援の構築について伺う。 (2) ICTをフル活用したシステムによるワンストップサービスの構築について伺う。 (3) その為にも、組織横断した職員のプロジェクトチームの編成と民間活みや大学のノウハウを生かす事が重要と考えるが、見解を伺う。
	2	柳 明夫	生活困窮の状況と生活保護について	(1) コロナ禍での生活困窮の状況、主に住居確保給付金、緊急小口・生活福祉資金、生活保護の申請、決定の状況について (2) 「生活保護申請は国民の権利、ためらわず相談を」との厚労省の呼びかけを市はどう受け止めているか。 (3) 生活保護の受給状況と捕捉率について (4) 捕捉率の低さと生活保護申請の際の「扶養照会」、自動車の保持を原則認めない取り扱いとの関係について (5) 生活保護費の実際の市の財政負担はどれだけか、特に基準財政需要額への算入と地方交付税の充当について (6) 生活保護費の市内経済への効果について
	3	後藤 宏爾	市のヤングケアラーに対する支援について	(1) 市のヤングケアラーの現状について ① 18歳未満のヤングケアラーの割合 ② 要保護・要支援児童・生徒のヤングケアラーの割合。 (2) ヤングケアラーの子ども達が相談できる体制の整備を検討しているか。
			子育て世帯への支援について	(1) 新型コロナ第3波により影響を受け、実質的な失業状態にある子育て世帯はどれくらいあるか。 ① コロナ感染拡大前と比較しての増減はどうか。 (2) 18歳以下の子どもがいる子育て世帯に市独自の支援策を検討しているか。

3月11日 (木)	3	後藤 宏爾	コロナ禍で困窮している学生への支援について	<p>(1) 市内在住の学生への支援の状況。</p> <p>(2) パイト等の収入が減少した市内在住の学生に対して市独自の支援をした方がよいと考えるが、市の見解は。</p>
	4	伊藤 千代子	コロナ禍での市民生活支援について	<p>(1) 感染の状況とPCR検査、医療体制について</p> <p>(2) 家族が入院後の子ども、要介護者、ペットへの対応について</p> <p>(3) 自宅待機者の状況と感染防止のための政策及び食糧、消毒液の支援について</p> <p>(4) 市民生活の困窮状況について（税、公共料金の滞納状況及び生活保護、就学援助の申請件数）</p>
			原子力発電所の事故対応について	(1) 玄海原子力発電所の核のゴミの現状と市住民への影響について
	5	笹栗 純夫	新庁舎移転時のシステム移行について	<p>(1) 庁舎移転に伴うシステム移行について、現段階の準備状況をお尋ねする。</p> <p>(2) 政府が進める「自治体デジタルトランスフォーメーション（DX）」及び「自治体システムの標準化」は令和7年度を期限としており、庁舎移転に伴うシステム移行と時期的に重なるが、これを円滑に両立するための基本的な方針や具体的方策をお尋ねする。</p> <p>(3) 基幹系システム（住民基本台帳システム、税システム等）はデータ等のバックアップを取っているか。またシステムを格納するサーバや他市町村と結ぶネットワーク・回線は、不具合があった場合でもバックアップが作動する等の冗長化がなされているか。これらのバックアップや冗長化は、新庁舎にシステム移行した場合も実現することとなっているか。</p> <p>(4) 住民情報を用いたシステムは、基幹系システム（住民基本台帳システム、税システム等）以外にも、「基幹系システム以外の事業者と契約し住民情報を用いたシステム」や、「市独自に開発したシステム」等があると考えられる。それらシステムの数や対象業務、サーバの所在、住民情報データの連携等の現状は完全に把握できているか。基幹系システム（住民基本台帳システム、税システム等）(a)と、「基幹系システム以外の事業者と契約し住民情報を用いたシステム」(b)とのデータ連携は、新庁舎移転後にも必ず実現しなければならないと考えられる。庁舎移転に伴うシステム移行において、この両者(a&amp;b)の調整は庁内でどのように行うか、見通しは立っているか。また、両者(a&amp;b)の責任の分界点は明確になっているか。</p> <p>(5) 毎年末及び年初は、暦年で確定する税業務と翌年度の当初課税準備で繁忙を極めていると考えられ、他部署においても繁忙期に重なると考えられるが、その時期に庁舎移転に伴うシステム移行を行うことになる。その大変さを理解し円滑に行うための方策は考えているか。</p> <p>(6) 庁舎移転に伴うシステムの利用開始に向けての、進捗管理及び試験スケジュールは確定しているか。開発中システム及びカスタマイズの凍結時期は分かっているか。</p> <p>(7) 政府が進める「自治体デジタルトランスフォーメーション（DX）」及び「自治体システムの標準化」と、庁舎移転に伴うシステム移行を安全にやり遂げるには、CIOの任命及びCIOを補佐するCIO補佐などの外部人材の活用が必須だと考えるが、見解を伺う。</p>

<p>3月11日 (木)</p>	<p>6</p>	<p>松月 よし子</p>	<p>成年後見制度の利用の促進について</p>	<p>(1) 行政として「成年後見制度の利用の促進」を図る目的と必要性について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①法的根拠について</li> <li>②新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた事務連絡等の受け皿について</li> </ul> <p>(2) 成年後見制度利用促進計画の進捗状況と現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①権利擁護体制の構築と推進の取組</li> <li>②市民後見養成講座の進捗と今後の展開</li> </ul> <p>(3) 市の成年後見事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①相談状況</li> <li>②市長申立ての状況</li> </ul> <p>(4) 法人後見の見通しと市民後見人の活躍の機会について</p>
----------------------	----------	---------------	-------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------